



平成 24 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 仙 台 銀 行
代 表 者 名 取 締 役 頭 取 三 井 精 一
問 合 せ 先 取 締 役 企 画 部 長 芳 賀 隆 之
(TEL. 022-225-8258)

平成 24 年 3 月期第 3 四半期決算及び通期業績見通しについて

株式会社仙台銀行（取締役頭取 三井 精一）は、本日、平成 24 年 3 月期第 3 四半期決算を公表いたしました。その概要及び通期業績予想は、以下のとおりでございますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期第 3 四半期決算（個別）の概要 — 有価証券減損処理を積極的に追加実施 —

（1）平成 24 年 3 月期第 2 四半期決算の概要（再掲・平成 23 年 11 月公表済）

昨年 11 月に公表しましたとおり、当行の第 2 四半期決算（23 年 9 月期）は、震災の影響を踏まえて出来る限り保守的に自己査定を行うことで、震災関連の貸倒引当金を追加計上するとともに、併せて有価証券評価損についても積極的な減損処理を実施したことから 95 億円の赤字を計上いたしました。

（2）平成 24 年 3 月期第 3 四半期決算の概要

今般の第 3 四半期決算（23 年 12 月期）においては、株式市場が下落したことから、有価証券評価損についてさらに積極的に 6 億円の追加減損処理を行い、当期純損失は第 2 四半期比で 3 億円増加し、99 億円の赤字となりました。なお、今回の有価証券の追加減損処理により、有価証券下落リスクは、極力排除できたものと考えております。

一方、震災関連の貸倒引当金は、既に第 2 四半期決算において大幅に引当金を計上済であることから、今般の第 3 四半期決算での追加計上はございませんでした。現時点では、将来に備えてできるだけ引当金を積んだと理解しております。

	23 年 9 月期 (第 2 四半期) A	23 年 12 月期 (第 3 四半期) B	増 減 B - A
経常利益	△8,348 百万円	△8,666 百万円	△318 百万円
当期純利益	△9,579 百万円	△9,917 百万円	△338 百万円
有価証券減損処理額	3,739 百万円	4,413 百万円	674 百万円
貸倒償却引当費用	4,349 百万円	4,323 百万円	△26 百万円

2. 通期業績予想 — 業績及び自己資本比率ともに経営強化計画の見通しどおり —

(1) 通期業績（個別）の見込み

今般の第3四半期決算では、積極的に有価証券の追加減損処理を行ったことから赤字幅が拡大しましたが、第4四半期において、既に減損処理済の有価証券について償還益等（約5億円）を見込んでいることから、現時点では、平成23年9月に公表しました経営強化計画に記載のとおり、個別の通期業績予想は、経常損失89億円、当期純損失95億円を見込んでおります。

(2) 自己資本比率の見込み

当行は、平成23年9月に改正金融機能強化法に基づく国の資本参加300億円をいただいたことにより、震災復興支援に向けた財務基盤を大幅に強化いたしました。

通期業績が当初見込みどおりであること、また、経営強化計画に基づき第4四半期中にTier IIに参入している劣後ローンを弁済することから、平成24年3月末の当行の単体自己資本比率については12.4%程度、Tier I比率は11.2%程度を見込んでおり、経営強化計画の見込みどおりとなる予定です。

項目	平成24年3月期	
	経営強化計画見込み	業績予想
経常利益	△8,900百万円	△8,900百万円
当期純利益	△9,500百万円	△9,500百万円
単体自己資本比率	12.4%程度	12.4%程度
Tier I比率	11.2%程度	11.2%程度

3. 経営強化計画の進捗状況 — 被災者支援に向けて着実に支援策を実施 —

- (1) さる平成24年2月2日に公表しましたとおり、当行は、経営強化計画に基づき、東日本大震災の復興に向けた様々な支援策に全力で取り組み、計画どおりの進捗状況となっております。
- (2) 具体的には、被災者への訪問活動の徹底による被災者との接点拡充、復興ニーズの的確な把握・分析、貸付条件の変更等に対応し、平成23年12月までに下表の実績を挙げております。
- (3) 当行は、引き続き、国民の皆様の期待に応えるため、経営強化計画に基づいて復興支援策に着実に取り組んでまいります。

項目	実績	備考
被災者向け新規融資	1,333先/274億円を実行	平成23年3月～12月までの累計実績
約定弁済の一時停止	870先/251億円を実施	
貸付条件の変更	361先/161億円を実施	

以上